

# 千葉県自動車大学校

学校自己評価報告書

(令和7年度)

## 目次（評価項目一覧）

### 項目 1. 教育理念・目的・目標

#### 1. 教育理念、目的及び目標の設定

- ①教育理念等を踏まえ、目的及び目標、育成人材像は明確にしていること
- ②社会ニーズを踏まえた学校の将来構想を描いているか
- ③育成人材像は専門分野に関連する業界ニーズに適合しているか
- ④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- ⑤法令、専門学校設置基準などを遵守し適正な運営がなされているか

### 項目 2. 教育課程、教育の実施、学修成果

#### 1. 教育課程の編成と授業科目

- ①目標・目的及び養成する人物像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針が作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること
- ②各科目の教育目標、育成人材像は業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けているか

#### 2. 教育の実施

- ①授業科目内容に応じ、講義、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること
- ②企業と連携した、実習、実技の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業間と連携した実習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること

#### 3. 単位・卒業認定

- ①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること

#### 4. 学修成果目標の達成状況

- ①卒業認定方針を踏まえ、学科、コースごとに職業能力を含む資質能力の習得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む）についての目標を定め、その目標が達成できていること
- ②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること

### 項目 3. 学生の受入れ、学生支援

#### 1. 学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理

- ①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること
- ②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること教員の教授力（インストラクションスキル）を向上させる研修を行っているか

#### 2. 自主的な学習の促進に対する支援

- ①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること

#### 3. 多様な学生に対する支援

- ①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること

- ②特に海外からの留学生について適正な在籍管理、進路（就職）指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されていること

#### 4. 学生生活に関する支援

- ①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること
- ②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること
- ③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること
- ④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること
- ⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること
- ⑥スポーツ等の部活動、課外活動に対する支援制度が整備され有効に機能しているか
- ⑦父母等と適切に連携しているか
- ⑧卒業生を支援する体制が整備され有効に機能しているか

### 項目4. 教育実施組織・教員

#### 1. 教員の配置、募集、採用

- ①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること
- ②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時間等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること

#### 2. 教員の組織編制等

- ①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規定等で定めている
- ②教員間で連携、協力体制を構築していること

#### 3. 教員の資質の向上

- ①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD (Faculty Development) などの取り組みや教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること
- ②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること
- ③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること

### 項目5. 教育環境

#### 1. 教育環境の整備

- ①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること
- ②学生の学習支援のための施設（自習室等）を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること

#### 2. 安全対策、防災組織

- ①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること
- ②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること

### 3. 施設・設備等の点検、改善等

- ①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること
- ②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること

## 項目 6. 教育活動の基盤と改善・向上の取組

### 1. 中期事業計画と財務基盤

- ①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること
- ②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること

### 2. 学校運営

- ①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む）

### 3. 学校評価の実施と改善活動

- ①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること
- ②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること
- ③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること
- ④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること

### 4. 社会からの理解と情報の公表

- ①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること
- ②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得よう取組んでいること

## 項目1. 教育理念・目的・目標

評価 3・・・基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2・・・概ね基準を満たしている  
1・・・基準を満たしておらず改善が必要

小項目	評価項目	自己評価
1.教育理念、 目的及び目標 の設定	①教育理念等を踏まえ、目的及び目標、育成人材像は明確にしていること	2
	②社会ニーズを踏まえた学校の将来構想を描いているか	2
	③育成人材像は専門分野に関連する業界ニーズに適合しているか	3
	④学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	2
	⑤法令、専門学校設置基準などを遵守し適正な運営がなされているか	2

### 現状

- ・本校は、教育基本法及び学校基本法に基づき、自動車整備について専修学校教育を行い、その応用能力と優れた人格を涵養し、もって自動車業界に有用な実践力に富む中堅的人材を育成し、よって自動車社会の健全な発展に資することを目的としている。
- ・本校は、千葉県下約2,140の整備事業者が組織する千葉県自動車整備商工組合を母体とし、次世代を担う後継者を養成するために設立されている。
- ・「より高い人格の形成」「練磨された技能の修得」「お客様に信頼と満足を提供できる人材の育成」という三つの教育方針を掲げ、自動車整備のプロフェッショナルとしての知識や技能を指導することのみならず、組合員企業と連携しインターンシップを行うなどして、より高い人格形成や向上心の育成を図っている。
- ・社会のニーズは、設立母体の千葉県自動車整備商工組合並びに千葉県自動車整備振興会のネットワークを活用し情報収集を行っている。また、教育課程編成委員会を開催し、業界団体からの意見収集を行っている。
- ・道路運送車両法や学校教育法に基づき適正に運営している。

## 項目2. 教育課程、教育の実施、学修成果

評価 3・・・基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2・・・概ね基準を満たしている  
1・・・基準を満たしておらず改善が必要

小項目	評価項目	自己評価
1.教育課程の 編成と授業科 目	①目標・目的及び養成する人物像を実現するために必要な教育課程編成・ 実施方針が作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目 を配置していること	2
	②各科目の教育目標、育成人材像は業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けているか	2
2.教育の実施	①授業科目内容に応じ、講義、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、 適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること	2
	②企業と連携した、実習、実技の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業間と 連携した実習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定してい ること	3

3.単位・卒業認定	①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること	2
4.学修成果目標の達成状況	①卒業認定方針を踏まえ、学科、コースごとに職業能力を含む資質能力の習得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む）についての目標を定め、その目標が達成できていること	2
	②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること	2

## 現状

- ・自動車整備業界に求められる人材要件を鑑み、学年ごとに到達目標を定め、それに合致したカリキュラムを実施している。また、国土交通省により認可された一種養成施設であるため、授業の指定科目及び指定時間が設定されている。
  - ・整備商工組合立であるため、県内整備工場及び自動車ディーラー、卒業生からの情報が入手しやすく、現況や将来の業界のニーズに応じた授業をいち早く反映させることができる。
  - ・外国人留学生に対し、就職に必要となる日本社会、日本語力の向上させることができているか。
  - ・成績評価・単位認定の基準は学則及び細則に明記されており、特に単位認定については国家試験の実技試験免除の資格基準となっている。
  - ・学内企業実習を複数の企業に依頼し、学科及び実技を直接指導していただく時間をカリキュラム内に設け、学生並びに業界のニーズに対応している。
  - ・卒業試験の学科及び実技試験において可以上の成績を修めた者に対し、学校長が卒業の認定を行う。
  - ・目標とする資格は、カリキュラム上の重要項目であり、各科ごとに独自の対策を策定しサポート体制を構築している。
- ・当校における生徒の入学者数・進級者数・退学者数・休学者数・卒業者数・就職希望者数・就職者数

### 令和7年度 二級自動車整備科

学年	期	入学又は進級者数	退学者数	休学者数	卒業者数	就職希望者数	就職者数
1年生	56期	49名	4名	1名			
2年生	55期	22名	0名	0名	22名	22名※	22名

### 令和7年度 一級自動車研究科

学年	期	入学又は進級者数	退学者数	休学者数	卒業者数	就職希望者数	就職者数
1年生	25期	11名	2名	0名			
2年生	24期	13名	3名	0名			
3年生	23期	16名	0名	1名			
4年生	22期	22名	0名	0名	22名	22名	22名

- ・当校における自動車整備士試験合格率（卒業生は全員が受験）

### 令和6年度

一級小型自動車整備士	二級ガソリン自動車整備士	二級ジーゼル自動車整備士
100%	100%	100%

- ・就職データを取り、次年度の活動に役立てている。
- ・自動車整備士試験や自動車整備業界関連資格について、合格者数を把握しており、その後の対策に役立てている。

#### 課題と改善点

- ・留学生の日本語読解力を向上させることが、今後も継続した課題である。

### 項目 3. 学生の受入れ、学生支援

評価 3・・・基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2・・・概ね基準を満たしている  
1・・・基準を満たしておらず改善が必要

小項目	評価項目	自己評価
1.学生募集 及び入学者の 選抜、収容定 員の管理	①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること	2
	②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること	2
2.自主的な学 習の促進に対 する支援	①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること	2
3.多様な学生 に対する支援	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること	2
	②特に海外からの留学生について適正な在籍管理、進路（就職）指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されていること	2
4.学生生活 に関する支援	①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること	2
	②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること	2
	③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること	2
	④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること	3
	⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること	2
	⑥スポーツ等の部活動、課外活動に対する支援制度が整備され有効に機能しているか	2
	⑦父母等と適切に連携しているか	2
	⑧卒業生を支援する体制が整備され有効に機能しているか	2

#### 現状

- ・入学選考については、選考方法により筆記試験及び面接試験後に判定会議を開き、適正かつ公平に入学の可否を判定している。

- ・定期的に入学案内書及び募集要項、ホームページについて、高校が実施する校内及び会場ガイダンス、当校が実施する体験入学、学校見学会を通じて頂戴した意見を参考に、改良及び作成している。
- ・高校が実施する校内及び会場ガイダンス、契約媒体紙、当校ホームページにより、在校生・卒業生の教育成果を伝えるよう努めている。
- ・補習、補講を行うことにより、基礎学力を身に付け、目的意識をしっかりと持たせている。
- ・日本学生支援機構による奨学金制度や専門実践教育訓練給付金制度の指定を受けている。また、特待生制度や入学金減免制度、さらに学校独自の後援会奨学金制度により支援している。
- ・就職指導に関しては教育課長を主軸に担任が実施している。身近な担任が指導するため細かな指導が行き届いている。
- ・朝礼時・授業開始に出席確認をする。無断欠席・遅刻はその理由を確認する。
- ・就職に関しては、履歴書の書き方をはじめ、企業訪問、面接試験の受け方等を個別に指導し、筆記・作文・実技試験等の指導を行っている。
- ・進路指導室を用いて、個別に悩み事や進路相談を受けている。さらにフリースペースを使用し、就職指導や自主的な学習場所として活用している。
- ・学校安全年間計画を作成し、校内で定期的な健康診断を行うなど、学生の健康面を支援している。
- ・自動車部、サッカー部があり、活動費の補助を行っている。
- ・欠席者、成績不良者の父母等には、こまめに連絡を取り必要に応じ父母等同席の面談を行っている。
- ・卒業後に自動車整備士の国家試験が行われるため、卒業後もフォローアップ講習を行っていると共に、再就職やキャリアアップのため支援も行っている。

#### 課題と改善点

- ・留学生の日本語教育の向上についての課題。入学前や入学後の学習会の検討。
- ・カウンセラーの配置についての課題。まず、学生の悩みが相談できる環境作りをし、心のケアに向き合い、学生の悩みが相談できる雰囲気作りを心掛ける。カウンセリングが必要な場合は、早々にカウンセリングルームを紹介し対応できるようにする。

#### 項目 4. 教育実施組織・教員

評価 3・・・基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2・・・概ね基準を満たしている  
1・・・基準を満たしておらず改善が必要

小項目	評価項目	自己評価
1.教員の配置、募集、採用	①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること	2
	②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時間等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること	2
2.教員の組織編制等	①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規定等で定めている	2
	②教員間で連携、協力体制を構築していること	2

3.教員の資質の向上	①学校の教育活動の改善、工夫を行う FD (Faculty Development) などの取組や教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること	2
	②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること	2
	③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること	2

※FD：ファカルティ・ディベロップメントとは教員が授業の内容や方法を改善し、向上させるために実施する組織的な取組のこと。

#### 現状

- ・教員を採用する際には、組合規定に基づいて行い、教員に適しているかの判断をする。
- ・年度末に学生アンケートを実施することにより、授業評価を行い改善に役立てている。
- ・年間カリキュラムや予算は、事業計画を策定し委員会及び理事会並びに総代会により承認を受けている。更に重要な案件の実行については稟議書により決裁を受け実行している。また、効率的な運営ができるよう責任分担がなされている。
- ・業界団体が行う技術研修や外部が行うスキルアップ研修に参加し、計画的に教員の資質向上を図っている。
- ・担当している学年の垣根を越えて、サポートやアドバイスを随時行っている。
- ・教員が講義や演習の方法について学内で研修会を行ったり、新任教員のためのロープレを開催したりすることなどがあります。
- ・業界団体と連携し、十分な技術研修の実施体制を整備している。

### 項目 5. 教育環境

評価 3・・・基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2・・・概ね基準を満たしている  
1・・・基準を満たしておらず改善が必要

小項目	評価項目	自己評価
1.教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機会器具等を備えていること	2
	②学生の学習支援のための施設（自習室等）を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること	2
2.安全対策、防災組織	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること	2
	②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること	2
3.施設・設備等の点検、改善等	①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること	2
	②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること	2

#### 現状

- ・学生数に対して十分な実習場面積や教室を備えている。
- ・フリースペースを利用し、学生の休憩や昼食場所として活用している。

- ・学校安全年間計画を作成し、校内での資格取得時の安全教育を実施し健康面を支援している。
- ・毎年4月に避難訓練を実施し、緊急時の避難経路の確認や避難器具の取扱い、初期消火方法などの指導を行っている。また、緊急時に備え非常食等の備蓄を行っている。
- ・教育施設について定期的に点検、改修・改善を行っている。

## 項目6. 教育活動の基盤と改善・向上の取組

評価 3・・・基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている 2・・・概ね基準を満たしている  
1・・・基準を満たしておらず改善が必要

小項目	評価項目	自己評価
1.中期事業計画と財務基盤	①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること	2
	②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること	2
2.学校運営	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む）	2
3.学校評価の実施と改善活動	①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること	2
	②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること	2
	③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること	2
	④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること	2
4.社会からの理解と情報の公表	①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること	2
	②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得よう取組んでいること	2

## 現状

- ・道路運送車両法や学校教育法に基づき適正に運営している。
- ・整備商工組合立という法人形態から、学校は組合組織の一部として位置づけられており、理事長を頂点とする運営組織が確立されている。
- ・人事、給与については、就業規則並びに諸規定によって規定されている。
- ・会計監査を適切に実施している。
- ・年間カリキュラムや予算は、事業計画を策定し委員会及び理事会並びに総代会により承認を受けている。更に重要な案件の実行については稟議書により決裁を受け実行している。また、効率的な運営ができるよう責任分担がなされている。
- ・教育課程編成委員会を年2回以上実施しており、委員に教育内容について策定いただいている。
- ・教育課程編成委員会で実施した結果及び改善状況をホームページにて公表している。

- ・会計報告は会計顧問の指導を受け、年間2回の監事による監査を実施し、委員会、理事会及び自動車整備商工組合総代会に報告しホームページでも公開している。
- ・学費は教育内容や教材の充実度から妥当なものと考えている。また、募集要項に記載されている学費以外に必要な経費は事前に預かり負担を軽減している。
- ・千葉県自動車整備商工組合、千葉県自動車整備振興会、日本自動車整備振興会連合会をはじめとする各団体と協力し、整備士の教育や自動車整備業界の啓蒙活動に寄与している。
- ・小中学校、高等学校の職場体験や模擬授業、文部科学省付帯事業である「学びの場」の実施に協力している
- ・日本赤十字千葉県支部に協力し、献血を年2回行っている。
- ・近隣の子供たちに向け、自動車やオートバイを身近に感じる機会として、又は夏休みの自由研究や職業体験として、体験型のイベントである「CATSカーフェスティバル」を独自に開催している。
- ・CATSカーフェスティバルのボランティアや組合員企業が参加するレースへのメカニック支援などを積極的に呼びかけている。

#### 課題と改善

- ・留学生が多く入学する中で、対応する職員の確保が課題。専任ではないが職員の増員を考慮する。